



大島学園 初の「海での着衣泳」 海上保安部と命を守る力を育む

7月17日(木)、大島学園で児童・保護者・教職員が一体となって取り組む「着衣泳」学習を初めて実際の海で実施します。今年度は福岡海上保安部の協力を得て、実際の海をフィールドに行い、命を守る判断力と行動力の育成を目指します。

大島学園が位置する離島は、海が日常生活と密接に関わる一方、水難事故のリスクも伴います。警察庁のデータでは、昨年国内で発生した水難による犠牲者は816人、そのうち海での犠牲者は372人と、全体の約45%を占めています。また、大島では2019年に中学生3人が女兒を救ったケースがありました。

こうした背景から、従来のプールでの指導に加えて、より実践的な環境での学びを重視。波や潮流といった特有の状況を体感し、「いざというときに自らの命を守る力」を、より現実的な形で育くみます。

当日は、福岡海上保安部の職員による指導のもと、児童生徒たちは着衣のまま海に入り、慌てず浮いて救助を待つ実践的な方法を学びます。また、海の特性や救命胴衣の有効性、危険への備えについても指導を受けます。保護者も共に参加し、学校と家庭が連携して安全意識を高める機会とします。

【着衣泳学習の概要】

日 時: 7月17日(木)14:25~16:00

場 所: 大島かんす海岸(交流館前)(宗像市大島901-4付近)

参 加 者: 大島学園 1年生~9年生(合計34人)、保護者

ゲストティーチャー:福岡海上保安部の方 2人

当日の流れ: 14:25~ はじめの会 開会あいさつ、目的説明、準備体操など

14:40頃~ 体験学習

1.水に慣れる(入水する)

2.服を着たまま浮く(衣服・靴を着用のまま浮く練習)

3.身近なものを使って浮く(ペットボトル、クーラーボックスを使用)

4.ライフジャケットの着用体験(着用し浮く体験をする)

15:30~ 終わりの会

児童の感想発表、お礼の言葉、閉会あいさつ

【渡船案内】(行き)13:50 神湊港発~14:15 大島港着 (帰り)16:20 大島港発~16:45 神湊港着

【問い合わせ先】※取材いただける場合は事前にご連絡ください

【授業について】宗像市立大島学園 担当:教頭・山崎 電話:0940-72-2024

【取材について】宗像市教育総務課 担当:指導主事・小島 電話:0940-36-5099